財務セクション

32 財務の概況

36

事業等のリスク

38

11年間のサマリー

40

連結貸借対照表

42

連結損益計算書

43

連結包括利益計算書

44

連結株主資本等変動計算書

45

連結キャッシュ・フロー計算書

46

セグメント情報

財務の概況

経営環境

当期における世界経済は、中国や新興国では成長鈍化が見られたものの、欧州の景気は持ち直しの動きが続き、米国の個人消費も安定的に推移しました。日本は雇用や企業収益の改善が続き、景気は緩やかな回復が続きました。タイヤ業界も円安の進展、原材料価格の下落基調など好材料がありましたが、世界的に価格競争が激化するなど厳しい環境が続きました。こうした中、横浜ゴムグループは販売力の強化、業務の効率化、コスト削減などに取り組みました。

営業の状況

2014年の売上高は前期比3.9%増の6,252億円となりました。主力のタイヤ事業は中国、欧州での販売が回復して販売量を伸ばしましたが、日本を含め海外市場全般で価格競争が激化し売値が悪化しました。

売上総利益は原材料価格が低位で推移したことで前期比

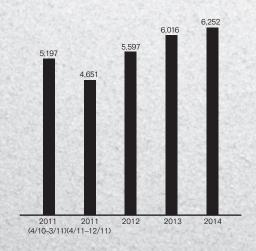
5.4%増の2,173億円となりました。しかし販売費および一般管理費が新規連結子会社の経費追加、タイヤ販売数量増加に伴う流通コストの増加などにより同5.8%増の1,582億円となりました。この結果、営業利益は同4.3%増の591億円に留まりました。営業利益率は前期と同様9.4%です。

その他の収益(営業外収益と特別利益の合計)からその他の支出(営業外支出と特別損失)を差し引いた純額は35億円のプラスとなりました。対ユーロが小幅な円安に留り、ルーブルが大幅な円高となったことで為替差損が発生しましたが、固定資産売却などによる特別利益を計上したことによるものです。

この結果、税金等調整前当期純利益は前期比12.1%増の626億円、当期純利益は同15.7%増の405億円となりました。

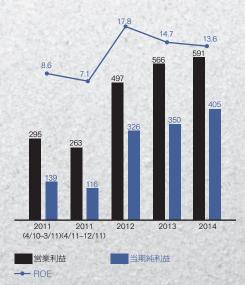
なお、期中平均為替レートはUSドルが106円(前期98円)、ユーロは140円(同130円)でした。





営業利益·当期純利益·ROE





事業別情報

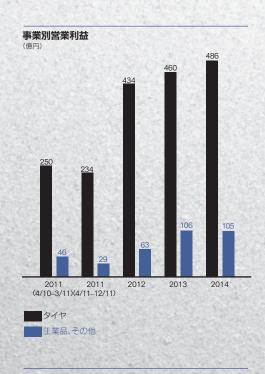
タイヤ事業の売上高は前期比3.8%増の4,976億円、 営業利益は同5.6%増の486億円となりました。

国内新車用は販売量は前年を下回りましたが、売上高は前年を上回りました。低燃費タイヤの新車装着活動を強化した結果、プレミアムカーやエコカー向けの新車装着を数多くの車種で獲得できました。国内市販用は販売量、売上高ともに前年並みとなりました。上期は降雪による冬用タイヤの販売増、消費税増税前の駆け込み需要で好調に推移しましたが、下期は需要減少、価格競争激化により低調に推移しました。海外市販用は中国、欧州を中心に販売が回復したことに加え、主要通貨が円安で推移したことで販売量、売上高ともに前年を上回りました。米国は旺盛な需要が続いたものの、価格競争が激化しました。

工業品事業(ホース配管事業、コンベヤベルト/マリン

ホースなどの工業資材事業、建築用シーリング材/自動車用接着剤などのハマタイト・電材事業)の売上高は前期比4.7%増の1,015億円、営業利益は同1.4%減の76億円となりました。ホース配管事業は小型建設機械の排ガス規制が2014年から強化されたのに伴い、旧基準適合機械への駆け込み需要が発生したため売上を伸ばしました。工業資材事業は防舷材の販売は低調でしたがコンベヤベルト、マリンホースの販売が堅調でした。ハマタイト・電材事業は建築用、自動車用共に好調に推移しました。

その他の事業(航空部品、ゴルフ用品など)の売上高は前期比4.0%増の262億円、営業利益は同2.1%減の29億円となりました。航空部品事業は、官需は補修品、民需は小型旅客機向け化粧室ユニットを中心に堅調に推移しました。ゴルフ用品も売上高が前年を上回りました。



財政状態

2014年12月31日現在の総資産は7,345億円で、前期末に比べて809億円増加しました。

流動資産は棚卸資産、現預金を中心に前期末比331億円増加しました。固定資産は投資有価証券の時価評価の増加、設備投資による有形固定資産の増加により同478億円増の3,821億円となりました。

負債は4,037億円で前期末比292億円増加しました。 有利子負債は同91億円増加の1,843億円になりました。 D/Eレシオは前期を若干下回る0.57倍となり、目標の 1倍以下を維持しています。

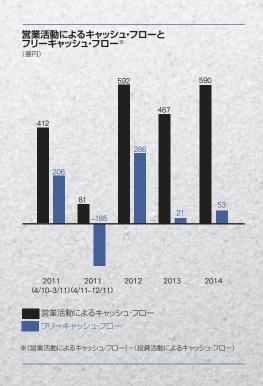
純資産は3,308億円で前期末比518億円増加しました。 当期純利益405億円、株式値上がりに伴う評価差額金の 増加などによるものです。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益、減価償却により590億円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは設備投資に伴う有形固定資産の取得により537億円のキャッシュアウトとなりました。この結果、フリーキャッシュ・フローは53億円のプラスになりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金やコマーシャル・ペーパーの増加がありましたが、長期借入金の返済などにより1億円の支出となりました。

設備投資の状況

2014年度の設備投資額は553億円でした。減価 償却費は274億円です。当初の設備投資計画588 億円を若干下回りますが、ほぼ計画通りの状況です。



研究開発費

横浜ゴムグループでは基盤技術に関する研究開発活動を研究本部が、商品に直接かかわる研究開発活動をタイヤ・工業品・その他事業の技術部門が担当しています。当期の研究開発費総額は134億円となりました。

配当

中間配当を1株当たり12円(前期同10円)、期末配当を14円(同12円)とし、年間では1株当たり26円(同22円)としました。

2015年の見通し

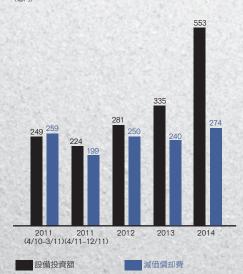
2015年は日本においては政府の経済対策の効果が下支えする中、景気は緩やかに回復することが期待されます。しかし、為替や原油価格の急激な変動による海外景気の下振れが影響する可能性もあり、不透明な経営環境が続くと予測されます。こうした経営環境に

あって、2015年は売上高が前期比7.6%増の6,730億円、営業利益が同8.4%増の640億円、当利純利益が同11.1%減の360億円を見込んでおり、売上高、営業利益は過去最高を更新する見込みです。なお、期中平均為替レートは1ドル=115円、1ユーロ=130円を想定しています。

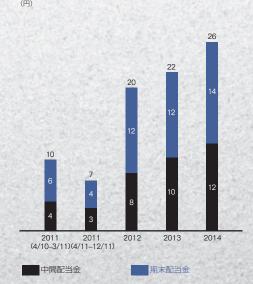
2015年の配当予想

横浜ゴムは2015年3月27日に開催した第 139 回定時株主総会において、2015年7月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合することを決定しました。これを踏まえ2015年の配当予想を、12月末を基準日とする期末配当を併合の割合に応じて、一株当たりの配当金額を2倍にします。この結果、2015年の配当は第2四半期12円(2015年6月30日基準日の中間配当は併合前の株式を対象)、期末28円(2015年12月期末配当は2株を1株に併合後の株式を対象)で、年間一株当り40円を予定しています。

設備投資額・減価償却費



1株当たり配当金



事業などのリスク

横浜ゴムグループの経営成績、株価および財務状況などに影響を及ぼす可能性のあるリスクは下記のようなものがあります。なお、文中における将来などに関する事項は当連結会計年度末(2014年12月31日)現在において判断したものです。

経済状況

横浜ゴムグループの全世界における営業収入のうち、 重要な部分を占める自動車用タイヤの需要は横浜ゴム グループが商品を販売している国または地域の経済状況 の影響を受けます。従って日本、北米、欧州、アジアなどの 主要市場における景気後退およびそれに伴う需要の減少は、 横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす 可能性があります。また、競業他社との販売競争激化に よる市場シェアダウンおよび価格競争の熾烈化による 販売価格の下落も横浜ゴムグループの業績および財務 状況に影響を及ぼす可能性があります。

為替レートの影響

横浜ゴムグループは主として円建で一般商取引、投融資活動などを行っていますが、米ドルその他の外国通貨建でもこれらの活動を行っています。今後一層の事業のグローバル化の進行に伴い、海外事業のウエイトが高まることが予想されます。従って、従来以上に外国通貨建の一般商取引、投融資活動などが増加し、外国為替の変動により横浜ゴムグループの業績および財務状況が影響を受ける度合いが大きくなります。為替予約の実施など為替レートの変動によるリスクを最小限に留める努力を行っていますが、当該リスクを完全に回避することはきわめて困難です。

季節変動の影響

横浜ゴムグループの業績は上半期と下半期を比較した場合、下半期の業績が良くなる傾向にあります。特に寒冷

地域で冬場の降雪時に使用する自動車用タイヤ(スタッドレスタイヤ)の販売が下半期に集中することが主な理由です。従って、降雪時期の遅れや降雪量の減少などが横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

原材料価格の影響

横浜ゴムグループの商品の主要な原材料は天然ゴムおよび石油化学製品です。従って、天然ゴム相場の大幅な上昇および国際的な原油価格の高騰があった場合、横浜ゴム商品の製造コストが影響を受ける可能性があります。これらの影響を最小限に留めるべく各種対策を実施していますが、原油価格が大幅に高騰し、吸収できる範囲を超えた場合は横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

資金調達力およびコストの影響

横浜ゴムグループは資金調達の安定性および流動性の保持を重視した財務運営を行っていますが、日本を含めた世界の主要な金融市場で混乱が発生した場合、計画通りに資金調達を行うことができない危険性があります。また、格付会社より横浜ゴムグループの信用格付けが大幅に下げられた場合、資金調達が制約されるとともに調達コストが増加し、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

有利子負債の影響

横浜ゴムグループの総資産に占める有利子負債の割合は約25.2%(2014年12月31日現在)です。グループファイナンスの実施によりグループ資金の効率化を行うことで財務体質の改善に取り組んでいますが、今後の金利動向によっては横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

保有有価証券の影響

横浜ゴムグループが保有する市場性のある有価証券のうち日本株式への投資が大きな割合を占めています。従って、日本の株式市場の変動および低迷などによる有価証券評価損の計上などで横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

投資などにかかわる影響

横浜ゴムグループは世界的な自動車用タイヤの需要に対応すべく、アジアを中心に生産拠点の拡大および生産能力の増強のための投資を行っています。この投資により商品の品質向上を図るとともに需要増にも対応でき、横浜ゴムグループの信頼を高め、シェアアップが期待できます。しかしながら、現地の法的規制や慣習などに起因する予測不能な事態が生じた場合、期待した成果を得ることができなくなるため、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

退職給付債務

横浜ゴムグループの退職給付債務および退職給付費用は割引率、年金資産の期待運用収益率などの一定の前提条件に基づいて数理計算を行っています。実際の割引率、運用収益率などが前提条件と異なる場合、その差額は将来にわたって規則的に認識されます。従って、金利低下、年金資産の時価の下落、運用利回りの低下などがあった場合や退職金制度、年金制度を変更した場合、将来の退職給付債務の増加により、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

災害などの影響

横浜ゴムグループは地震などの自然災害に備え、各種対応策を検討し、計画的に実施していますが、生産拠点および原材料の主要な仕入先などに予想外の災害が発生した場合、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

知的財産権の影響

横浜ゴムグループは技術ノウハウの蓄積と知的財産権の保護に努めていますが、第三者の知的財産権の侵害を効果的に防止できないことがあります。また、横浜ゴムグループの商品または技術が、第三者から知的財産権を侵害したとして訴訟を受け、それが認められた場合には、グループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

商品の品質による影響

横浜ゴムグループは品質管理を経営の最重要課題とし、品質管理体制の万全を期していますが、商品の欠陥や不良を皆無にすることは困難です。大規模なリコールや欠陥に起因する多額の損害賠償が起きた場合には、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響をおよぼす可能性があります。

法律・規制・訴訟の影響

横浜ゴムグループは事業活動を行っている各国において、投資、貿易、為替管理、独占禁止、環境保護など、横浜ゴムグループが展開している様々な事業に関連する法律や規制の適用を受けています。将来において、新たな法律や規制により、事業活動の制約やコストの上昇など横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。また、国内外における予期せぬ法律や規制の変更などにより、横浜ゴムグループの事業活動に制約を受け、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。これらのほか、横浜ゴムグループは国内外の事業活動に関連して、訴訟や各国当局による捜査・調査の対象となる可能性があります。重要な訴訟が提起された場合や各国当局による捜査・調査が開始された場合、横浜ゴムグループの業績および財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

11 年間のサマリー

横浜ゴム株式会社及び連結子会社

表内の年表記は英語版アニュアルレポートに揃えています。2011 年度に決算期を毎年 12 月 31 日に変更したため、「2011/12」は 2011 年度、「2011/3」は 2010 年度を表しています。なお、決算期変更の経過期間である 2011 年度(2011/12)は 9 カ月決算となっています。

	2014	2013	2012	2011/12	
売上高	¥ 625,246	¥ 601,630	¥ 559,700	¥ 465,134	
営業利益	59,067	56,647	49,696	26,291	
税金等調整前当期純利益(純損失)	62,594	55,819	51,768	16,604	
当期純利益 (純損失)	40,503	35,008	32,611	11,619	
減価償却費	27,439	23,982	25,007	19,871	
設備投資額	55,325	33,505	28,070	22,433	
研究開発費	13,438	12,633	12,825	9,307	
有利子負債	184,336	175,251	146,285	161,998	
純資産	330,782	279,021	211,350	168,286	
総資産	734,512	653,584	543,829	501,786	
1 株当たり (円):					
当期純利益(純損失)	¥ 125.34	¥ 108.32	¥ 97.87	¥ 34.68	
純資産	1,001.29	837.84	631.64	484.04	
配当金	26.00	22.00	20.00	7.00	
主要経営指標:					
売上高営業利益率(%)	9.4	9.4	8.9	5.7	
自己資本利益率(%)	13.6	14.7	17.8	7.1	
総資産回転率(回)	0.9	1.0	1.1	0.9	
D/Eレシオ (倍)	0.6	0.6	0.7	1.0	
インタレスト/カバレッジ(倍)	18.4	20.6	20.7	14.3	
従業員数	21,441	19,770	19,412	19,272	

						(百万円)
2011/3	2010	2009	2008	2007	2006	2005
¥ 519,742	¥ 466,358	¥517,263	¥ 551,431	¥ 497,396	¥ 451,911	¥ 419,789
29,491	21,455	12,808	33,119	21,070	21,947	20,955
21,880	18,969	(3,166)	20,478	26,038	22,673	16,337
13,924	11,487	(5,654)	21,060	16,363	21,447	11,322
25,885	28,184	28,684	27,238	22,166	20,491	19,616
24,944	17,471	43,341	27,292	40,638	29,067	27,533
12,748	13,280	15,277	15,289	14,649	14,557	14,265
146,773	154,675	179,379	165,614	167,474	163,022	151,758
170,872	163,382	144,159	181,538	186,528	174,609	139,534
478,916	466,973	473,376	526,192	536,322	502,014	432,717
¥ 41.55	¥ 34.27	¥ (16.87)	¥ 62.81	¥ 48.79	¥ 62.75	¥ 32.95
489.27	475.26	417.45	525.96	542.10	508.64	398.24
10.00	10.00	10.00	13.00	12.00	10.00	8.00
5.7	4.6	2.5	6.0	4.2	4.9	5.0
8.6	7.7	(3.6)	11.8	9.3	14.0	8.6
1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
0.9	1.0	1.3	0.9	0.9	1.0	1.1
13.4	8.0	4.3	9.0	7.0	10.1	11.2
18,465	17,566	16,772	16,099	15,423	14,617	13,464

連結貸借対照表

横浜ゴム株式会社及び連結子会社 014年及び2013年12月31日現在

	百万	千米ドル	
資産の部	2014 (2014/12/31)	2013 (2013/12/31)	2014 (2014/12/31)
現金及び預金	¥ 45,967	¥ 37,179	\$ 381,313
売上債権:	-,	,	· ,
受取手形及び売掛金	171,026	167,831	1,418,715
棚卸資産	108,355	91,025	898,839
繰延税金資産	11,954	11,583	99,159
その他	15,846	12,646	131,444
貸倒引当金	(722)	(971)	(5,989)
流動資産合計	352,426	319,293	2,923,482
有形固定資産:			
土地	36,177	35,594	300,103
建物及び構築物	171,752	159,731	1,424,733
機械装置、運搬具、工具、器具及び備品	501,604	467,138	4,160,962
リース資産	2,956	3,039	24,525
建設仮勘定	41,702	17,452	345,931
	754,191	682,954	6,256,255
減価償却費累計	(504,756)	(475,383)	(4,187,109)
有形固定資産合計(純額)	249,435	207,571	2,069,145
投資その他の資産:			
投資有価証券	104 150	00.000	062.050
繰延税金資産	104,150	99,638	863,958
その他	5,182	6,069	42,990
貸倒引当金	23,868 (551)	21,536 (523)	197,995 (4,567)
投資その他の資産合計	132,650	126,720	1,100,376
及れていたツス圧目印	132,050	120,120	1,100,376
資産合計	¥ 734,512	¥ 653,584	\$6,093,003

	百		
負債・純資産の部	2014 (2014/12/31	2013) (2013/12/31)	2014 (2014/12/31)
流動負債:			
短期借入債務	¥ 87,368	¥ 79,623	\$ 724,742
一年以内に返済予定の長期借入金	23,014	31,825	190,909
コマーシャル・ペーパー	22,000	12,000	182,497
支払手形及び買掛金	80,641	76,718	668,942
電子記録債務	8,450	6,871	70,096
未払法人税等	10,869	11,035	90,162
未払費用 返品調整引当金	38,613	33,916	320,304
その他	716	853	5,940
	20,915	17,218	173,495
流動負債合計 	292,585	270,059	2,427,086
固定負債:			
長期借入債務	51,955	51,804	430,982
繰延税金負債	22,441	18,680	186,153
退職給付引当金		18,554	-
退職給付に係る負債	24,684		204,763
その他	12,064	15,466	100,078
固定負債合計	111,144	104,504	921,975
負債合計	403,729	374,563	3,349,061
株主資本: 資本金: 授権株式数: 700,000,000 株 (2013 年及び 2014 年 12 月 31 日現在)			
発行済株式数: 342,598,162株(2013年及び2014年12月31日現在)	38,909	38,909	322,764
資本剰余金	31,954	31,953	265,068
利益剰余金	206,462	173,761	1,712,671
自己株式一取得価額			
19,457,152 株(2014 年 12 月 31 日現在)			
19,437,042 株(2013 年 12 月 31 日現在)	(11,378)	(11,358)	(94,383)
株主資本合計	265,948	233,265	2,206,119
その他の包括利益累計額:			
その他有価証券評価差額金	42,559	38,586	353,037
為替換算調整勘定	19,855	4,299	164,707
在外子会社の年金債務調整額	_	(5,394)	_
退職給付に係る調整累計額	(4,805)		(39,855)
		27.404	
	57,609	37,491	477,889
少数株主持分	7,225	8,265	59,934
純資産合計		279,021	<u> </u>
	330,782	213,021	2,743,942
負債純資産合計	¥734,512	¥653,584	\$6,093,003

連結損益計算書

横浜ゴム株式会社及び連結子会社 2014年及び2013年12月31日に終了した1年間

		千米ドル	
	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)	2013 (2013/1/1– 2013/12/31)	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)
	¥ 625,246	¥ 601,630	\$5,186,610
売上原価	407,968	395,502	3,384,219
売上総利益	217,278	206,128	1,802,391
販売費及び一般管理費	158,212	149,481	1,312,414
営業利益	59,067	56,647	489,977
その他の収益(費用)			
受取利息及び配当金	2,850	1,891	23,642
支払利息	(3,371)	(2,846)	(27,966)
為替差益(差損)	(891)	4,649	(7,393)
固定資産売却益	5,028	_	41,706
投資有価証券売却益	2,615	_	21,691
固定資産除売却損	(851)	(1,119)	(7,063)
事業構造改善費用	_	(1,155)	_
減損損失	_	(1,411)	_
その他(純額)	(1,851)	(837)	(15,356)
	3,527	(828)	29,261
税金等調整前当期純利益 法人税等:	62,594	55,819	519,238
法人税、住民税及び事業税	20,800	20,890	172,540
法人税等調整額	1,258	(18)	10,436
	22,058	20,872	182,976
少数株主損益調整前当期純利益	40,536	34,947	336,262
少数株主利益	(34)	61	(280)
当期純利益	¥ 40,503	¥ 35,008	\$ 335,982

連結包括利益計算書

横浜ゴム株式会社及び連結子会社 2014年及び2013年12月31日に終了した1年間

		千米ドル	
	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)	2013 (2013/1/1– 2013/12/31)	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)
少数株主損益調整前当期純利益	¥ 40,536	¥ 34,947	\$336,262
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	3,984	18,268	33,051
為替換算調整勘定	15,411	19,702	127,841
在外子会社の年金債務調整額	(959)	1,018	(7,958)
持分法適用会社に対する持分相当額	7	317	56
その他の包括利益合計	¥ 18,443	¥ 39,305	\$152,990
包括利益	¥ 58,979	¥ 74,252	\$489,253
親会社株主に係る包括利益	59,073	73,515	490,028
少数株主に係る包括利益	(93)	737	(775)

一株当たり当期純利益及び配当金:

2014 年及び 2013 年 12 月 31 日に終了した 1 年間

		米ドル	
	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)	2013 (2013/1/1– 2013/12/31)	2014 (2014/1/1– 2014/12/31)
当期純利益	¥125.34	¥108.32	\$1.04
当期純利益:潜在株式調整後	_	_	_
配当金	¥ 26.00	¥ 22.00	\$0.22

連結株主資本等変動計算書

横浜ゴム株式会社及び連結子会社 2014年及び2013年12月31日に終了した1年間

	発行済株式数	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の 包括利益 累計額合計・	少数株主持续	分純資産合計
2013年1月1日現在残高	342,598,162	¥38,909	¥31,953	¥ 145,607	¥ (11,294)	¥ 205,175	¥ (1,016)	¥ 7,191	¥ 211,350
当期純利益	_	_	_	35,008	_	35,008	_	_	35,008
剰余金の配当	_	_	_	(7,110)	_	(7,110)	_	_	(7,110)
連結範囲の変動	_	_	_	256	_	256	_	_	256
自己株式の取得	_	_	_	_	(64)	(64)	_	_	(64)
自己株式の処分	_	_	0	_	0	0	_	_	0
その他の包括利益累計額									
その他有価証券評価差額金	_	_	_	_	_	_	18,255	_	18,255
為替換算調整勘定	_	_	_	_	_	_	19,238	_	19,238
在外子会社の年金債務調整額	_	_	_	_	_	_	1,014	_	1,014
退職給付に係る調整累計額	_	_	_	_	_	_	_	_	_
少数株主持分	_	_	_	_	_	_	_	1,074	1,074
2014年1月1日現在残高	342,598,162	38,909	31,953	173,761	(11,358)	233,265	37,491	8,265	279,021
当期純利益	_	_	_	40,503	_	40,503	_	_	40,503
剰余金の配当	_	_	_	(7,756)	_	(7,756)	_	_	(7,756)
連結範囲の変動	_	_	_	(45)	_	(45)	_	_	(45)
自己株式の取得	_	_	_	_	(20)	(20)	_	_	(20)
自己株式の処分	_	_	0	_	1	1	_	_	1
その他の包括利益累計額									
その他有価証券評価差額金	_	_	_	_	_	_	3,973	_	3,973
為替換算調整勘定	_	_	_	_	_	_	15,556	_	15,556
在外子会社の年金債務調整額	_	_	_	_	_	_	5,394	_	5,394
退職給付に係る調整累計額	_	_	_	_	_	_	(4,805)	_	(4,805)
少数株主持分	_	_	_	_	_	_	_	(1,040)	(1,040)
2014年12月31日現在残高	342,598,162	¥ 38,909	¥ 31,954	¥ 206,462	¥ (11,378)	¥ 265,948	¥ 57,609	¥ 7,225	¥ 330,782

千米ドル

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の 包括利益 累計額合計	少数株主持分	純資産合計
2014年1月1日現在残高	\$ 322,764	\$ 265,064	\$1,441,405	\$(94,216)	\$1,935,017	\$310,999	\$ 68,558	\$2,314,566
当期純利益	_	_	335,982	_	335,982	_	_	335,982
剰余金の配当	_	_	(64,337)	_	(64,337)	_	_	(64,337)
連結範囲の変動	_	_	(372)	_	(372)	_	_	(372)
自己株式の取得	_	_	_	(167)	(167)	_	_	(167)
自己株式の処分	_	4	_	7	11	_	_	11
その他の包括利益累計額								
その他有価証券評価差額金	_	_	_	_	_	32,955	_	32,955
為替換算調整勘定	_	_	_	_	_	129,043	_	129,043
在外子会社の年金債務調整額	_	_	_	_	_	44,747	_	44,747
退職給付に係る調整累計額	_	_	_	_	_	(39,855)	_	(39,855)
少数株主持分	_	_	_	_	_	_	(8,624)	(8,624)
2014年12月31日現在残高	\$ 322,764	\$ 265,068	\$1,712,671	\$(94,383)	\$2,206,119	\$ 477,889	\$ 59,934	\$2,743,942

連結キャッシュフロー計算書

横浜ゴム株式会社及び連結子会社 2014年及び2013年12月31日に終了した1年間

	百万	百万円		
	2014 (2014/1/1/– 2014/12/31)	2013 (2013/1/1/– 2013/12/31)	2014 (2014/1/1/– 2014/12/31)	
営業活動によるキャッシュ・フロー:				
税金等調整前当期純利益	¥ 62,594	¥ 55,819	\$ 519,238	
営業活動により獲得した現金(純額)への調整:				
減価償却費	27,439	23,982	227,613	
投資有価証券売却損益	(2,615)	_	(21,691)	
固定資産除売却損益	(4,176)	1,119	(34,643)	
事業構造改善費用	_	1,155	_	
減損損失	_	1,411	_	
退職給付引当金の増減額	_	(172)	_	
退職給付に係る負債の増減額	116	0	963	
その他(純額)	70	(425)	582	
資産及び負債の変動:				
売上債権の増減額	333	(7,058)	2,763	
棚卸資産の増減額	(11,561)	1,938	(95,900)	
仕入債務の増減	1,953	(6,570)	16,199	
その他(純額)	6,288	2,479	52,162	
利息及び配当金の受取額	2,837	1,884	23,531	
利息の支払額	(3,361)	(3,184)	(27,882)	
法人税等の支払額	(20,923)	(25,726)	(173,565)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,994	46,652	489,371	
投資活動によるキャッシュ・フロー:	33,001	10,002	100,071	
有形固定資産の取得による支出	(52,730)	(32,422)	(437,408)	
投資有価証券取得による支出	(4,196)	(5,541)	(34,804)	
有形固定資産の売却による収入	6,365	279	52,802	
投資有価証券の売却による収入	3,246	0	26,925	
貸付けによる支出	(5,619)	(4,317)	(46,615)	
その他(純額)	(807)	(2,568)	(6,695)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	(53,741)	(44,570)	(445,796)	
財務活動によるキャッシュ・フロー:	(00,7117	(11,070)	(1.10,700)	
短期借入金の純増減額	10,862	233	90,107	
コマーシャル・ペーパーの純増減額	10,000	12,000	82,953	
長期借入れによる収入	9,166	17,475	76,032	
長期借入金の返済による支出	(20,968)	(10,566)	(173,932)	
社債の発行による収入	10,000	10,000	82,953	
社債の償還による支出	(10,000)	(10,000)	(82,953)	
社員の債 ほとの支払額	(7,748)	(7,103)	(64,272)	
にヨェッスな顔 長期預り金の返還による支出	(7,740)	(2,555)	(04,272)	
	(1,385)	(962)	(11.400)	
その他(純額) 財務活動によるキャッシュ・フロー	(73)	8,522	(11,490)	
VI WILLIAM				
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,483	2,531	12,302	
現金及び現金同等物の増減額 現金及び現金同等物の期差残富	6,663	13,135	55,276	
現金及び現金同等物の期首残高	35,863	21,115	297,494	
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	1,927	1,613	15,987	
現金及び現金同等物の期末残高	¥ 44,454	¥ 35,863	\$ 368,756	

セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分や業績の評価を行うために、定期的に検討を行う対象になっているものです。横浜ゴムは、商品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の総合的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、横浜ゴムは、事業部別のセグメントから構成されており、主要な事業である「タイヤ事業」「工業品事業」を報告セグメントに分類しています。

- (2) 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、その他の項目の金額の算定方法 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。また、セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢 価格に基づいています。
- (3) 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、その他の項目に関する情報 以下の報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、その他の項目に関する情報は、2014及び2013年 12月31日に終了した1年間のものです。

	百万円							
	タイヤ	工業品	報告セグメント 合計	その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額	
			2014 (2	014/1/1–201	4/12/31)			
外部顧客への売上高	¥497,573	¥101,451	¥599,024	¥26,222	¥625,246	¥ —	¥625,246	
セグメント間の内部売上高								
または振替高	1,997	184	2,181	3,561	5,743	(5,743)		
売上高合計	499,570	101,634	601,205	29,784	630,988	(5,743)	625,246	
セグメント利益	¥ 48,578	¥ 7,579	¥ 56,157	¥ 2,893	¥ 59,050	¥ 17	¥ 59,067	
セグメント資産	¥575,330	¥78,440	¥653,769	¥62,242	¥716,011	¥18,500	¥734,512	
その他の項目								
減価償却費	¥ 24,130	¥ 2,328	¥ 26,458	¥ 499	¥ 26,957	¥ 482	¥ 27,439	
持分法適用会社への投資額	¥ 67	¥ —	¥ 67	¥ —	¥ 67	¥ —	¥ 67	
有形固定資産および無形固								
定資産の増加額	¥ 50,567	¥ 3,551	¥ 54,117	¥ 292	¥ 54,409	¥ 916	¥ 55,325	

	2013 (2013/1/1–2013/12/31)							
外部顧客への売上高	¥479,522	¥96,883	¥576,405	¥25,225	¥601,630	¥ —	¥601,630	
セグメント間の内部売上高								
または振替高	1,762	203	1,965	3,496	5,461	(5,461)		
売上高合計	481,284	97,086	578,370	28,721	607,091	(5,461)	601,630	
セグメント利益	¥ 46,021	¥ 7,690	¥ 53,711	¥ 2,955	¥ 56,666	¥ (19)	¥ 56,647	
セグメント資産	¥523,959	¥66,129	¥590,088	¥63,619	¥653,707	¥ (123)	¥653,584	
その他の項目								
減価償却費	¥ 21,101	¥ 2,034	¥ 23,135	¥ 547	¥ 23,682	¥ 300	¥ 23,982	
減損損失	¥ 1,410	¥ —	¥ 1,410	¥ 546	¥ 1,956	¥ —	¥ 1,956	
持分法適用会社への投資額	¥ 1,843	¥ —	¥ 1,843	¥ —	¥ 1,843	¥ —	¥ 1,843	
有形固定資産および無形固								
定資産の増加額	¥ 29,374	¥ 3,073	¥ 32,447	¥ 585	¥ 33,032	¥ 473	¥ 33,505	

千米ドル

	タイヤ	工業品	報告セグメント 合計	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額			
	2014 (2014/1/1–2014/12/31)									
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高	\$4,127,523	\$841,565	\$4,969,089	\$217,522	\$5,186,610	\$ —	\$5,186,610			
または振替高	16,568	1,524	18,092	29,544	47,636	(47,636)	_			
売上高合計	4,144,091	843,089	4,987,181	247,066	5,234,246	(47,636)	5,186,610			
セグメント利益	\$ 402,967	\$ 62,870	\$ 465,837	\$ 24,000	\$ 489,838	\$ 140	\$ 489,977			
セグメント資産 その他の項目	\$4,772,541	\$650,681	\$5,423,222	\$516,316	\$5,939,538	\$153,465	\$6,093,003			
減価償却費	\$ 200,168	\$ 19,309	\$ 219,477	\$ 4,137	\$ 223,614	\$ 3,998	\$ 227,613			
持分法適用会社への投資額 有形固定資産および無形固	\$ 560	\$ —	\$ 560	\$ —	\$ 560	\$ —	\$ 560			
定資産の増加額	\$ 419,468	\$ 29,453	\$ 448,921	\$ 2,421	\$ 451,342	\$ 7,600	\$ 458,942			

(注)

- 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業です。
- 2. 調整額は以下のとおりです。
 - (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。
 - (2) 2014 年 12 月 31 日に終了した 1 年間のセグメント資産の調整額 18,500 百万円 (153,465 千米ドル) は、セグメント間取引消去等 32,972 百万円 (273,515 千米ドル) と各セグメントに配分していない全社資産51,472 百万円 (426,980 千米ドル) が含まれています。全社資産の主なものは、現預金等の余資運用資産と投資有価証券等です。
- 3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。